

## 福井県警と連携した交通安全啓発活動を実施

～「なんで止まらん！福井県」～

日本損害保険協会福井損保会（会長：小林 弘之・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社福井支店長）では、この度、交通安全啓発チラシ「なんで止まらん！福井県」を作成し、福井県警交通企画課に寄贈しました。

福井県は、日本自動車連盟（JAF）の全国調査において、信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている際の車の一時停止率が26.7%（全国平均45.1%）と全国ワースト3位になっており、「車優先」という誤った認識のドライバーが多い実態にあります。

3月7日（木）には、JR福井駅西口において、福井県警、福井県、福井損保会、福井県損害保険代理業協会のメンバーで街頭啓発活動を実施し、チラシ・反射材を配布しました。チラシを受け取った方からは「福井で一時停止率が悪いことは知らなかった」といった声も聞かれました。

当支部では、今後も、警察や関係機関と連携し、交通事故を減らすための啓発活動を実施してまいります。



チラシを配布する小林会長



チラシを配布する福井県代協・木下会長



作成したチラシ